



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7238 URL <https://www.akebono-brake.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 宮地 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 荘原 健 (TEL) 048-560-1501
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	102,379	△19.0	1,731	△30.4	83	△93.7	9,679	—
2019年3月期第2四半期	126,443	△7.1	2,487	△43.3	1,312	△56.5	129	△89.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 10,866百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 △232百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	72.62	71.64
2019年3月期第2四半期	0.97	0.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	156,786	38,736	21.3
2019年3月期	168,583	7,880	1.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 33,424百万円 2019年3月期 2,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,400	△19.4	2,800	—	400	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

事業再構築のための各施策の具体的な実行計画や実施時期等を、新経営体制の下で再度精査することとしており、現時点では、特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	135,992,343株	2019年3月期	135,992,343株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	2,727,724株	2019年3月期	2,748,322株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	133,253,986株	2019年3月期2Q	133,221,262株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下の通りです。

	年間配当金			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
A種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	—
2020年3月期	—	0.00		
2020年3月期(予想)			—	—

(注) 上記のA種類株式の発行数は、20,000株であります。A種類株式は、2019年9月30日に発行しております。
2020年3月期に属する日を基準日とする配当金の予想額は、現時点では未定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13
3. その他	13
継続企業の前提に関する重要事象等	13
4. 補足情報	
2020年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(注)における当社グループの業績は、北米の主要な完成車メーカーにおいて当社製品採用車のモデルチェンジにともない受注を逃したことにより売上高が大幅に減少いたしました。これに加え、日本における主要な完成車メーカーからの受注減や中国での生産が減少したこと、また、当社製品採用車の生産打ち切りなどの影響もあり、売上高は1,024億円(前年同期比19.0%減)となりました。利益面では、日本において労務費や経費削減などの効果があったものの、北米及び中国での受注減少による影響が大きく、営業利益は17億円(前年同期比30.4%減)、経常利益は1億円(前年同期比93.7%減)となりました。

特別損益については、第1四半期にリコール関連損失78億円を計上したことに加え、当第2四半期ではお取引金融機関からの債務免除益431億円の特別利益を計上した一方で、日本セグメントを中心とした固定資産の減損損失240億円や、事業構造改善費用12億円(第1四半期5億円、第2四半期7億円)等の特別損失を計上いたしました。これにより親会社株主に帰属する四半期純利益は97億円(前年同期は1億円の利益)となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減	増減率
売上高	1,264	1,024	△241	△19.0%
営業利益	25	17	△8	△30.4%
経常利益	13	1	△12	△93.7%
税金等調整前四半期純利益	18	107	89	495.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	97	96	—%

地域セグメントごとの業績は次の通りです。

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	増減	前期	当期	増減
日本	390	367	△23	△0	11	11
北米	637	443	△194	3	△12	△15
欧州	83	73	△9	△6	0	6
中国	112	81	△31	12	4	△8
タイ	41	39	△2	2	2	△0
インドネシア	100	98	△2	12	11	△1
連結消去	△98	△77	21	2	1	△1
連結	1,264	1,024	△241	25	17	△8

① 日本

完成車メーカーの世界戦略車用品の新規受注はありましたが、一部完成車メーカーでの主力車種の販売不振や補修品事業でのスペアパーツなどの売上減少等の影響が大きく、売上高は367億円(前年同期比6.0%減)となりました。

利益面では、受注減少による影響があったものの事業再生に向けた施策として、労務費や経費削減による収益改善努力に加え、開発テーマを絞り込み効率化したことにより費用を削減したことや、生産性向上、材料スクラップ率改善といった生産や調達の合理化効果もあり、11億円の営業利益(前年同期は営業損失2千万円)となりました。

② 北米

主要車種の新規モデルへの切り換えにともない受注を逃したこと及び完成車メーカーの新車販売不振の影響が大きく、売上高は443億円(前年同期比30.4%減)と大幅な減収となりました。

利益面では、前期に行った固定資産の減損損失の計上による減価償却費の負担減少や、人員の適正化及び生産性改善による効果が出ているものの、大幅な受注の減少による影響が大きく、12億円の営業損失(前年同期は営業利益3億円)となりました。

③ 欧州

高性能量販車用製品の受注は好調に推移しているものの、欧州全体の自動車市場低迷の影響を受けて、摩擦材ビジネスやグローバルプラットフォーム(全世界での車台共通化)車用製品の受注が減少し、売上高は73億円(前年同期比11.4%減)となりました。

利益面では、受注減の影響があったものの、スロバキア工場における生産性改善と品質の向上によるスクラップ費用の大幅削減や、基幹部品を欧州現地調達に切り替えるなど材料費の購入価格低減に取り組んだ結果、営業利益は2千万円(前年同期は営業損失6億円)となりました。

④ 中国

自動車需要縮小及び海外輸出の大幅減少の影響を受け、一部の日本及び欧州メーカー向け製品の売上が減少し、売上高は81億円(前年同期比27.8%減)の大幅な減収となりました。

利益面では、生産性向上などの合理化活動や経費削減による効果が出ているものの、供給価格の値下げ要求や大幅な受注の減少による影響が大きく、営業利益は4億円(前年同期比67.5%減)となりました。

⑤ タイ

ピックアップトラック用製品は引き続き好調でしたが、一部製品でモデルチェンジを控え在庫調整が行われた影響などもあり、売上高は39億円(前年同期比5.2%減)となりました。

利益面では、生産性改善による合理化の効果や減価償却費の負担減少などがありましたが、受注の減少や労務費の増加といった減益要因もあり、営業利益は2億円(前年同期比13.8%減)となりました。

⑥ インドネシア

自動二輪車用新規製品の受注増や、前期に立ち上がったMPV(多目的乗用車)用製品の受注は好調だったものの、欧州向けグローバルプラットフォーム車用製品の受注の減少により、売上高は98億円(前年同期比1.8%減)となりました。

利益面では、生産性改善や購入部品の内製化・現地調達への切替えなどの合理化効果があったものの、賃金率が上がったことによる労務費の上昇、IoT導入費用などの経費増があり、営業利益は11億円(前年同期比5.2%減)となりました。

(注) 当第2四半期連結累計期間とは

(1) 北米・中国・タイ・インドネシア : 2019年1月～2019年6月

(2) 日本・欧州 : 2019年4月～2019年9月 となります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

(資産の部)	前期末	当期末	増減	(負債・純資産の部)	前期末	当期末	増減
流動資産	708	844	137	流動負債	1,101	665	△436
現金及び預金	188	364	176	有利子負債	699	239	△460
売上債権	330	299	△31	その他	402	426	24
その他	190	181	△9	固定負債	506	516	9
固定資産	978	723	△254	有利子負債	438	458	20
有形固定資産	859	609	△251	その他	69	58	△11
投資有価証券	52	54	2	負債合計	1,607	1,180	△427
その他	66	60	△6	純資産	79	387	309
総資産	1,686	1,568	△118	負債・純資産	1,686	1,568	△118

(資産)

当期末の資産は1,568億円と前期末比118億円の減少となりました。

流動資産は844億円と前期末比137億円の増加となりました。主として、日本や中国での売上減少などにより売上債権が31億円減少した一方で、現金及び預金が176億円増加したことによるものです。固定資産は723億円と前期末比254億円の減少となりました。これは、日本セグメントを中心とした固定資産の減損損失を計上したことにより、有形固定資産が251億円減少したことによるものです。

(負債)

当期末の負債は1,180億円と前期末比427億円の減少となりました。

流動負債は665億円と前期末比436億円の減少となりました。これは主に、債務免除により短期借入金189億円、1年内返済予定の長期借入金が272億円減少したことによるものです。固定負債は516億円と前期末比9億円の増加となりました。これは、元本残高の維持など返済スケジュールの見直しにより長期借入金が29億円増加したことによるものです。なお、有利子負債残高は、上述の債務免除により、前期末の1,137億円から当期末は697億円へ440億円減少しております。

(純資産)

当期末の純資産は387億円と前期末比309億円の増加となりました。主な要因は、第三者割当増資によるA種種類株式の発行により資本金が100億円、資本剰余金が100億円増加したことに加え、債務免除益等の計上により最終損益が大幅な黒字となったことなどにより利益剰余金が130億円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末比176億円増加の364億円となりました。

(単位：億円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	58	36	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49	△56	△7
計 (フリー・キャッシュ・フロー)	9	△20	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13	195	209

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因は、利息の支払額10億円や法人税等の支払額7億円があった一方で、減価償却費49億円などにより、資金が増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因は、投資有価証券の売却による収入2億円があった一方で、日本やインドネシアを中心とした設備投資により有形及び無形固定資産の取得による支出59億円などにより、資金が減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主な要因は、ファイナンス・リース債務の返済による支出7億円があった一方で、株式の発行による収入199億円などにより、資金が増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日付の「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表した通り、2020年3月期の通期連結業績予想は未定としましたが、直近の状況を踏まえ、売上高1,964億円、営業利益28億円、経常利益4億円となる見込みです。

今後は、事業再生ADR手続の中で債権者からご同意いただいた事業再生計画に沿って、事業再構築のための各施策を実行に移していくこととなりますが、各施策の具体的な実行計画や実施時期等を、新経営体制の下で再度精査することとしており、現時点では、特別損益の予想が見通せず、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益の業績予想につきましては、引き続き、未定とさせていただきます。事業再生計画の実施状況を踏まえ、改めてお知らせいたします。

詳細は、本日公表の「特別損失(減損損失・事業構造改善費用)の計上及び通期連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

<2020年3月期地域別業績予想>

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	前期実績	今回予想	増減額	前期実績	今回予想	増減額
日本	772	725	△47	△6	26	32
北米	1,196	794	△402	△40	△41	△1
欧州	158	154	△5	△7	△1	6
アジア	501	450	△51	53	42	△11
連結消去	△190	△158	32	3	2	△1
連結合計	2,437	1,964	△473	2	28	26

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,794	36,414
受取手形及び売掛金	33,037	29,927
商品及び製品	4,374	4,003
仕掛品	1,782	1,610
原材料及び貯蔵品	9,973	9,300
その他	3,042	3,353
貸倒引当金	△211	△163
流動資産合計	70,792	84,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,709	51,561
減価償却累計額	△36,856	△37,481
建物及び構築物 (純額)	22,853	14,080
機械装置及び運搬具	164,069	155,244
減価償却累計額	△131,544	△130,982
機械装置及び運搬具 (純額)	32,525	24,262
土地	21,038	15,091
建設仮勘定	6,327	5,900
その他	24,210	22,850
減価償却累計額	△21,022	△21,314
その他 (純額)	3,188	1,535
有形固定資産合計	85,930	60,869
無形固定資産	1,560	1,021
投資その他の資産		
投資有価証券	5,249	5,431
退職給付に係る資産	3,617	3,466
繰延税金資産	534	535
その他	912	1,026
貸倒引当金	△11	△4
投資その他の資産合計	10,301	10,453
固定資産合計	97,791	72,342
資産合計	168,583	156,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,365	21,110
短期借入金	32,593	13,650
1年内返済予定の長期借入金	36,040	8,795
リース債務	1,282	1,486
未払法人税等	544	673
未払費用	9,276	16,848
賞与引当金	1,251	1,187
設備関係支払手形	1,723	928
その他	2,998	1,807
流動負債合計	110,071	66,484
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	37,077	39,990
リース債務	4,676	3,763
役員退職慰労引当金	33	34
退職給付に係る負債	2,342	2,364
繰延税金負債	721	1,668
再評価に係る繰延税金負債	3,155	1,668
その他	627	79
固定負債合計	50,631	51,566
負債合計	160,703	118,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	29,939
資本剰余金	—	10,000
利益剰余金	△23,580	△10,557
自己株式	△1,835	△1,821
株主資本合計	△5,476	27,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,385	2,230
土地再評価差額金	6,741	3,393
為替換算調整勘定	659	574
退職給付に係る調整累計額	△439	△334
その他の包括利益累計額合計	8,347	5,863
新株予約権	144	125
非支配株主持分	4,865	5,187
純資産合計	7,880	38,736
負債純資産合計	168,583	156,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	126,443	102,379
売上原価	113,135	91,562
売上総利益	13,308	10,817
販売費及び一般管理費	10,821	9,087
営業利益	2,487	1,731
営業外収益		
受取利息	19	25
受取配当金	178	91
持分法による投資利益	—	12
その他	106	151
営業外収益合計	302	280
営業外費用		
支払利息	1,047	995
持分法による投資損失	2	—
為替差損	15	339
製品補償費	133	133
その他	279	461
営業外費用合計	1,477	1,928
経常利益	1,312	83
特別利益		
固定資産売却益	12	58
投資有価証券売却益	544	49
債務免除益	—	43,063
補助金収入	19	18
新株予約権戻入益	—	10
その他	—	500
特別利益合計	574	43,697
特別損失		
固定資産除売却損	95	118
減損損失	—	24,020
投資有価証券売却損	—	16
事業構造改善費用	—	1,155
リコール関連損失	—	7,804
特別損失合計	95	33,113
税金等調整前四半期純利益	1,791	10,666
法人税、住民税及び事業税	998	699
法人税等調整額	46	△103
法人税等合計	1,044	596
四半期純利益	747	10,071
非支配株主に帰属する四半期純利益	617	391
親会社株主に帰属する四半期純利益	129	9,679

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	747	10,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	845
為替換算調整勘定	△1,140	△155
退職給付に係る調整額	127	105
その他の包括利益合計	△979	795
四半期包括利益	△232	10,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△600	10,544
非支配株主に係る四半期包括利益	368	322

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,791	10,666
減価償却費	5,942	4,933
減損損失	—	24,020
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	68	△45
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△182	327
受取利息及び受取配当金	△197	△116
支払利息	1,047	995
持分法による投資損益 (△は益)	2	△12
固定資産除売却損益 (△は益)	84	61
投資有価証券売却損益 (△は益)	△544	△33
債務免除益	—	△43,063
売上債権の増減額 (△は増加)	△178	2,566
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△169	905
仕入債務の増減額 (△は減少)	△243	△2,893
その他	△198	6,852
小計	7,222	5,163
利息及び配当金の受取額	197	116
利息の支払額	△1,045	△957
法人税等の支払額	△1,226	△732
法人税等の還付額	691	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,839	3,604
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,079	△5,947
国庫補助金等による収入	59	36
有形及び無形固定資産の売却による収入	65	96
投資有価証券の取得による支出	△10	△6
投資有価証券の売却による収入	1,026	229
その他	25	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,914	△5,594
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,815	793
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△7,316	△128
社債の発行による収入	1,979	—
株式の発行による収入	—	19,928
配当金の支払額	△0	—
非支配株主への配当金の支払額	△638	△422
セール・アンド・リースバックによる収入	836	108
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△512	△748
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,336	19,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△129	81
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△539	17,620
現金及び現金同等物の期首残高	12,682	18,794
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,143	36,414

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月30日付で、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第弐号投資事業有限責任組合から第三者割当増資によるA種種類株式の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が10,000百万円、資本準備金が10,000百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が29,939百万円、資本剰余金が10,000百万円となっております。

なお、2019年9月27日開催の臨時株主総会の決議により、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、第3四半期連結累計期間において資本金が10,000百万円、資本準備金が10,000百万円減少し、第3四半期連結会計期間末において資本金が19,939百万円、資本剰余金が20,000百万円となる予定です。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	34,250	61,786	7,500	10,973	3,945	7,990	126,443	—	126,443
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,774	1,920	752	272	151	1,966	9,835	△9,835	—
計	39,024	63,706	8,252	11,244	4,096	9,956	136,278	△9,835	126,443
セグメント利益 又は損失(△)	△23	287	△602	1,235	243	1,159	2,299	187	2,487

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への 売上高	32,489	43,136	6,731	7,852	3,614	8,557	102,379	—	102,379
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,208	1,206	578	261	268	1,216	7,737	△7,737	—
計	36,696	44,342	7,309	8,113	3,882	9,773	110,116	△7,737	102,379
セグメント利益 又は損失(△)	1,066	△1,181	19	402	210	1,098	1,614	117	1,731

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア	全社・消去	合計
減損損失	23,894	—	126	—	—	—	—	24,020

(重要な後発事象)

当社並びに当社子会社は、2019年9月18日開催の事業再生計画案の決議のための債権者会議の続会において、お取引金融機関から総額56,000百万円の債務免除を内容に含む事業再生計画案にご同意いただき、事業再生ADR手続が成立いたしました。

一方、この債務免除の効力は、2019年9月27日開催の当社臨時株主総会において、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第弐号投資事業有限責任組合に対して、A種種類株式の発行に係る各議案が全て原案どおり承認可決されることを条件としておりましたが、同日、全て原案どおり承認可決され、債務免除の効力が発生いたしました。

上記の債務免除額56,000百万円のうち、当社に対する債務免除益43,063百万円は当第2四半期連結累計期間に特別利益として計上しておりますが、当社子会社に対する債務免除益12,937百万円は、当該子会社の決算日が12月31日であり、当該子会社の第2四半期決算日(6月30日)現在の財務諸表を基礎として四半期連結財務諸表を作成しているため、第3四半期連結累計期間に特別利益として計上する予定です。

3. その他**継続企業の前提に関する重要事象等**

当社グループは、米系完成車メーカーの乗用車生産からの撤退や、生産混乱に起因して次期モデル用ブレーキ製品の受注を逃した事等新たな北米事業の課題が生じ、前連結会計年度において、多額の減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は18,264百万円、連結貸借対照表の株主資本は△5,476百万円となりました。また、第1四半期連結累計期間においても、リコール関連損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,887百万円、四半期連結貸借対照表の株主資本は△14,355百万円となりました。そのため、財務制限条項に抵触し、一部の銀行借入の弁済を約定どおり進めることも困難となっていたことから、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

このような厳しい経営状況を踏まえ、当社は、産業競争力強化法に基づく特定認証紛争解決手続(以下、「事業再生ADR手続」といいます。)の下で事業再生に取り組んでまいりました。2019年7月18日には、ジャパン・インダストリアル・ソリューションズ第弐号投資事業有限責任組合(以下、「JISファンド」といいます。)との間で出資契約書を締結し、9月18日開催の事業再生計画案の決議のための債権者会議の続会では、JISファンドとの協議を経て策定した事業再生計画案が、全てのお取引金融機関からの同意により成立し、事業再生ADR手続が終了いたしました。

また、9月27日開催の臨時株主総会では、JISファンドから第三者割当増資による出資を受けるために必要な各議案が承認可決されるとともに、総額560億円の金融機関による債務免除の効力が発生いたしました。9月30日にはJISファンドから総額200億円のA種種類株式の払込手続が完了しております。

以上により、お取引金融機関からの金融支援をいただき、またJISファンドからの払込手続が完了し、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しなくなったことを踏まえ、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。

2020年3月期 第2四半期連結累計期間 決算概要

2019年11月12日

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2018. 4～2018. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2019. 4～2019. 9)		増減	増減率
売上高	(100. 0)	126, 443	(100. 0)	102, 379	△24, 064	△19. 0%
売上総利益	(10. 5)	13, 308	(10. 6)	10, 817	△2, 491	△18. 7%
営業利益	(2. 0)	2, 487	(1. 7)	1, 731	△756	△30. 4%
経常利益	(1. 0)	1, 312	(0. 1)	83	△1, 229	△93. 7%
特別損益		479		10, 584	10, 105	—
税前四半期純利益	(1. 4)	1, 791	(10. 4)	10, 666	8, 876	495. 6%
法人税等・調整額		1, 044		596	△448	△43. 0%
非支配株主に帰属する四半期純利益		617		391	△226	△36. 6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	(0. 1)	129	(9. 5)	9, 679	9, 550	—
総資産	(前期末)=2019年3月期	168, 583	(当期末)	156, 786	△11, 797	△7. 0%
純資産	(前期末)	7, 880	(当期末)	38, 736	30, 856	391. 6%
自己資本	(前期末)	2, 871	(当期末)	33, 424	30, 553	—
自己資本比率	(前期末)	1. 7%	(当期末)	21. 3%	19. 6%	
現預金	(前期末)	18, 794	(当期末)	36, 414	17, 620	
有利子負債	(前期末)	113, 669	(当期末)	69, 683	△43, 985	
ネット有利子負債	(前期末)	94, 875	(当期末)	33, 269	△61, 606	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	33. 05倍	(当期末)	1. 00倍	△32. 05倍	
営業CF (内数：減価償却費)		5, 839 (5, 942)		3, 604 (4, 933)	△2, 236 (△1, 009)	
投資CF (内数：設備投資)		△4, 914 (△6, 079)		△5, 594 (△5, 947)	△680 (132)	
フリーCF		926		△1, 991	△2, 916	
財務CF		△1, 336		19, 530	20, 865	
連結子会社数	(前期末)	23社	(当期末)	23社	—	
持分法適用会社数	(前期末)	1社	(当期末)	1社	—	
期中平均レート	USD	USD 108. 5円	USD	USD 110. 0円	1. 5円	
	EUR / CNY	EUR 129. 8円/ CNY 17. 0円	EUR 120. 9円/ CNY 16. 2円	△8. 9円/ △0. 8円		
	THB / IDR	THB 3. 4円/ IDR 0. 008円	THB 3. 5円/ IDR 0. 008円	0. 1円/ △0. 000円		

2. 地域別業績

(単位：百万円)

		前第2四半期連結累計期間 (2018. 4～2018. 9)		当第2四半期連結累計期間 (2019. 4～2019. 9)		増減	増減率	為替換算 影響
売上高	日本		39, 024		36, 696	△2, 327	△6. 0%	—
	北米		63, 706		44, 342	△19, 363	△30. 4%	593
	欧州		8, 252		7, 309	△943	△11. 4%	△537
	中国		11, 244		8, 113	△3, 131	△27. 8%	△390
	タイ		4, 096		3, 882	△214	△5. 2%	78
	インドネシア		9, 956		9, 773	△183	△1. 8%	△125
	連結消去		△9, 835		△7, 737	2, 097	—	—
	連結		126, 443		102, 379	△24, 064	△19. 0%	△382
営業利益	日本	—	△23	2. 9%	1, 066	1, 089	—	—
	北米	0. 5%	287	—	△1, 181	△1, 468	—	△16
	欧州	—	△602	0. 3%	19	620	—	△1
	中国	11. 0%	1, 235	5. 0%	402	△833	△67. 5%	△19
	タイ	5. 9%	243	5. 4%	210	△33	△13. 8%	4
	インドネシア	11. 6%	1, 159	11. 2%	1, 098	△61	△5. 2%	△14
	連結消去	—	187	—	117	△70	△37. 6%	—
	連結	2. 0%	2, 487	1. 7%	1, 731	△756	△30. 4%	△46